技術と信頼のトレードマーク

NIPPO

給水装置用（ダイヤフラム式）

埋設型減圧弁 NRD

13～25

減圧弁部はストレーナ付カートリッジ式

●ストレーナが異物の流入を防止して器具を保護
●カートリッジ式で清掃・交換が容易

JWWA E-470

●認証機関：公益社団法人日本水道協会 品質認証センター
●適合性能：耐圧・浸出・耐久

素敵な創造～人へ·未来へ

NIPPO VALVE 株式会社 日邦バルブ

給水装置用（ダイヤフラム式）

埋設型減圧弁 NRD 13～25

●メンテナンスが容易なカートリッジ式

減圧弁は水使用の度に作動しているので、長期間性能を維持するため必要に応じたメンテナンスが必要です。このため、減圧弁部のみの取付け・取外しが簡単にできるカートリッジ式を採用しました。電球交換と同じ要領で脱着できるねじ込み式で、本体を配管から取外すことなく減圧弁部の交換やストレーナの清掃が行えます。

●ストレーナ付

減圧弁カートリッジにはストレーナが装着されており、使用時に減圧弁部や本製品以降の二次側器具類への異物の流入を 防ぎます。

●洗管キャップ付

出荷時、減圧弁に付属しておりそのまま洗管や水圧検査ができます。ストレーナ機能を持ち洗管時に異物の流入を防止。洗管や水圧検査終了後、異物とともに取外します。このため減圧弁カートリッジを清浄な状態でご使用開始いただけます。

出荷時

●優れた耐久性

屋外設置を考慮した密閉構造。主要材質は耐食性に優れた鉛レス青銅合金・ステンレス等、また、ダイヤフラムやディスク部には耐塩素性のゴム（耐塩素 EPDM）を使用しており、耐久性に優れます。

●小型・軽量で、メーター二次側や止水栓等に直結できます。

●減圧弁設置後、減圧が不要になった場合でも、減圧弁カートリッジを取外し減圧弁部キャップ(別売)を取付けるだけで対応できるため、配管を変える必要がありません。

仕　様

使用流体	水道水（常温：20±15℃）		
使用圧力	1.0MPa 以下		
二次側標準設定圧力	0.2・0.25・0.3MPa		
二次側圧力調整範囲	0.15～0.3MPa		
出荷時の二次側設定圧力許容差範囲	$^{+20}_{0}$ kPa		
定格流量（差圧 0.1MPa 以上）	13：30L/min	20：50L/min	25：85L/min
接続（一次側 × 二次側）	C×V、V×C (C：ユニオンナット、V：平行おねじ) C×V は統一ねじ・普通ねじ選択可、V×C は統一ねじのみ		

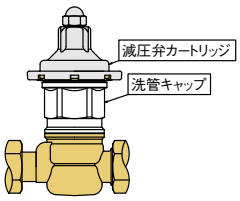
⚠ 注　意

●仕様の範囲内でご使用ください。範囲外での使用は、機能低下や破損の原因となります。

洗管キャップの使用方法

⚠ 洗管キャップを取付けた状態のまま使用すると、減圧されません。また、長期使用時には漏水する可能性があります。洗管と水圧検査終了後には**必ず洗管キャップを取外し**、減圧弁を取付けてご使用ください。

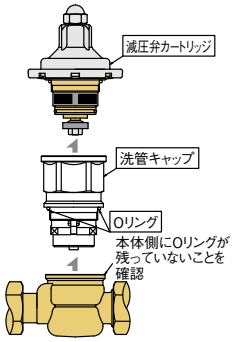
1 必ず洗管キャップを付けた状態（出荷時の状態）で、洗管と水圧検査を行ってください。



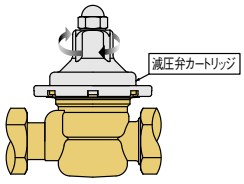
⚠ 洗管キャップを外し減圧弁カートリッジが直接付いた状態で洗管と水圧検査を行うと、減圧弁の機能に支障をきたす恐れがあります。

2 洗管と水圧検査終了後、ねじ込まれている洗管キャップと減圧弁カートリッジを手で左に回して取外します。

⚠ 洗管キャップを取外す際、洗管キャップに付属しているOリングが本体側に残ってしまう場合があります。この状態で減圧弁カートリッジを取付けると、漏水する可能性があります。**必ず本体側にOリングが残っていないことを確認**の上、減圧弁カートリッジを取付けてください。

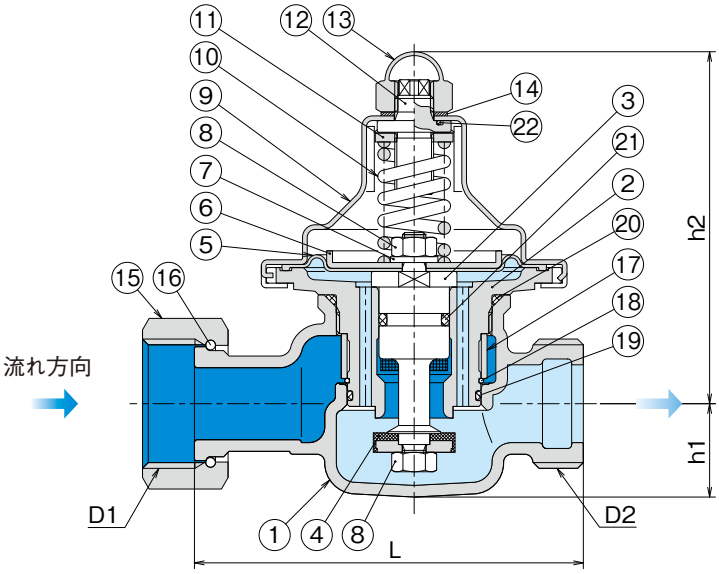


3 洗管キャップを取外した状態の減圧弁カートリッジを、手で右に回して直接ねじ込みます。



⚠ すき間が空かないよう、十分にねじ込んでください。

構　造



■主要部品表

品番	部　品　名	材　質
1	本　体	CAC911
2	シリンダ	CAC911(テフロンコーティング)
3	スピンドル	鉛レス青銅連鋳棒
4	ディスク	耐塩素EPDM 鉛レス青銅連鋳棒
5	ダイヤフラム	耐塩素EPDM
6	センターディスク	SUS304
7	ばね座金	SUS
8	六角ナット	SUS
9	カバー	SUS304
10	ば　ね	SWP-B
11	ばね受け	SPCC

品番	部　品　名	材　質
12	調整ねじ	CAC406C
13	六角袋ナット	SUS
14	ナットパッキン	PE
15	袋ナット	CAC406C
16	直結リング	C5191W
17	ストレーナ	PP SUS304
18	止めリング	SUS304-WPB
19	Oリング	NBR
20	Oリング	NBR
21	Oリング	NBR
22	Oリング	NBR

■主要寸法表（C×Vの場合）

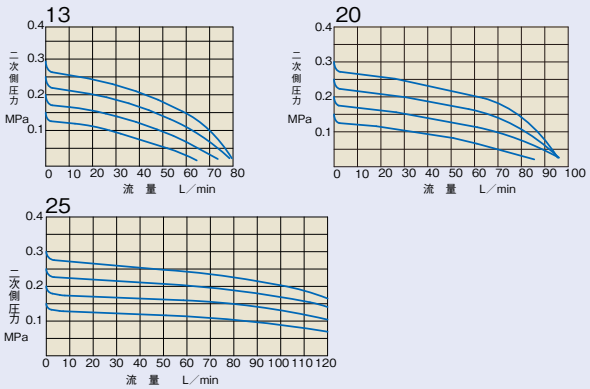
記号 / 呼び径	L*	h1	h2	D1		D2	
				統一ねじ	普通ねじ	統一ねじ	普通ねじ
13	80	24	90.5	G 3/4	W25.8山14	G 3/4	W25.8山14
20	100	24	90.5	G1	W33.0山14	G1	W33.0山14
25	120	45	122	G1 1/4	W39.0山14	G1 1/4	W39.0山14

＊面間寸法Ｌは、YN 式減圧弁 NRV13～25 と同様です。

性　能

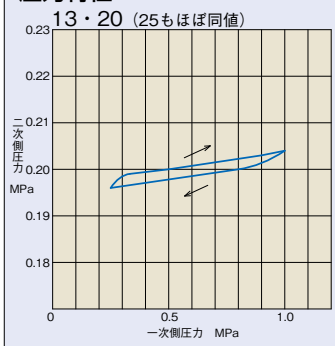
- 耐圧：流入側（一次側）から 1.75MPa の水圧 1 分間異常なし。
- 浸出：浸出性能試験により水質基準に適合
- 耐久：10 万回作動後、異常なし。
- 流量・圧力・騒音特性は下記グラフを参照

流量特性



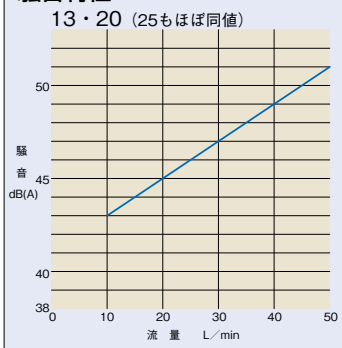
一 次 側 圧 力：0.5MPa
二次側設定圧力：0.15, 0.2, 0.25, 0.3MPa（締切り昇圧を含んだ停水時の圧力）

圧力特性



一次側圧力0.5MPaの時、二次側圧力を0.2MPaに設定し、一次側圧力を0.5～1.0～0.25～0.5MPaに変化させた時の二次側圧力の変動を示します。

騒音特性

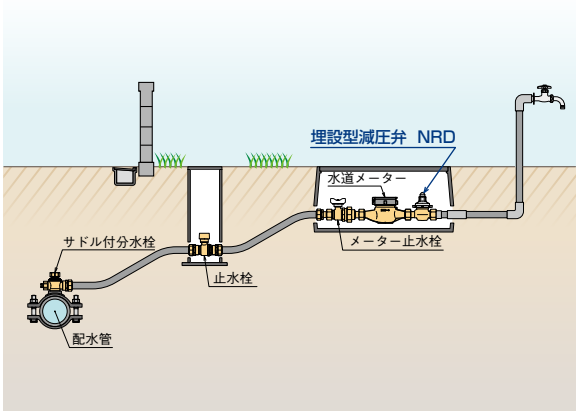


一次側圧力 0.6MPa
二次側設定圧力 0.2MPa
マイクロホンの距離 15cm
暗騒音 38dB（A）

取付け・取扱い方法

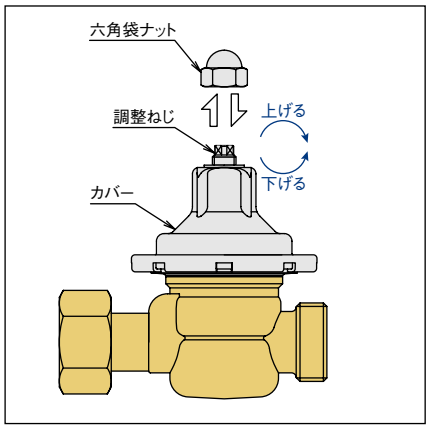
- 保管は直射日光や雨水を避け、器具の内部にごみやほこりが入らないようにしてください。
- 取扱中、器具の落下等に注意してください。損傷によって漏水や故障の原因となります。
- 減圧弁を取付ける前に必ず洗管し、異物等を十分に除去してください。
- 本体に鋳出しされた矢印を、流れ方向に合わせて配管してください。
- 必ず洗管キャップを付けた状態（出荷時の状態）で洗管と水圧検査を行ってください。尚、洗管キャップはストレーナ機能を持ち、洗管終了後、異物とともに取外します。（前ページ「洗管キャップの使用方法」をお読みください。）
- 凍結が予想される場合には、保温等の凍結防止策を施してください。凍結は漏水や故障の原因となります。
- 解氷作業等での直火等による加熱は、漏水や故障の原因となりますのでおやめください。

配管例



減圧弁 二次側圧力の調整方法

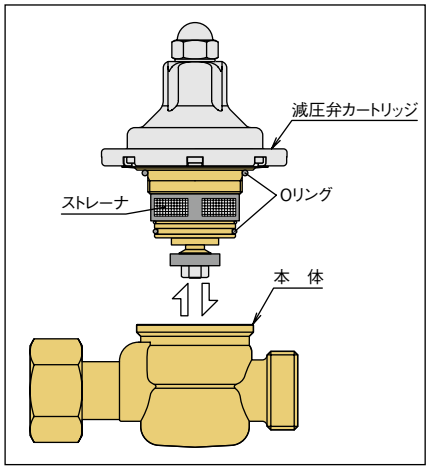
減圧弁は原則として、ご指定の二次側標準設定圧力に設定された上で出荷されます。但し減圧弁設置後、設定圧力を変更する必要がある場合には、次の手順で行ってください。



1. カバー上部の六角袋ナットをレンチ等で緩めて取外します。
2. 調整ねじのつまみを回して調整し、圧力を設定します。右へ回すと圧力が上がり、左へ回すと下がります。調整の目安としては、1回転で約0.03MPa変動します。
3. 目安とする回転数を回した後、必ず二次側に設置されている給水栓等を2～3回開閉して二次側圧力が安定し、目標の設定圧力になっているか、圧力計で確認してください。
4. 目標の設定圧力になるまで2 3を繰り返し、微調整します。
5. 六角袋ナットを取付けてください。

メンテナンス

減圧弁を常に正常に作動させ、また、性能を維持させるためには適切な保守点検が必要です。減圧弁カートリッジの交換や、ストレーナ清掃等の必要が生じた場合には、次の手順で行ってください。



〈減圧弁カートリッジ交換の手順〉

1. 一次側に設置されている止水栓等を閉栓します。
2. 二次側に設置されている給水栓等を開け、配管内の圧力を抜きます。
3. 減圧弁部はカートリッジ式のため、電球交換と同じ要領で手で左に回して取外します。（手で回らない場合は、レンチ等を使用して回してください）
   ★減圧弁カートリッジを取外す際、図のOリングが本体に残っていないことを確認してください。
4. 交換品に、砂・ゴミ等が付着しないよう注意し、また、所定箇所にOリングが装着されていることを確認した上で本体に挿入し、手で右に回してしっかりねじ込みます。（締過ぎに注意）
   ★無理にねじ込むとねじ山をつぶしてしまい、取付けできなくなります。確実にねじを嵌合させてから、**すき間が空かないよう**十分にねじ込んでください。
5. 一次側に設置されている止水栓等を開栓し、漏水等の異常のないことを確認してください。

〈ストレーナの清掃〉

減圧弁カートリッジを取外し、ストレーナに付着している異物を歯ブラシ等を使用して取除いた後、再び本体に取付けます。カートリッジの取外し・取付けは上記「減圧弁カートリッジ交換の手順」をご参照ください。

尚、本体内部に異物が残存している場合は、減圧弁カートリッジを取外した後二次側給水栓等を閉め、一次側止水栓を少し開けて水圧により排出してください。

〈減圧弁設置後、減圧が不要となった場合の対処方法〉

減圧弁カートリッジを上記「減圧弁カートリッジ交換の手順」に従って取外した後、本体のカートリッジ取付け部に減圧弁部キャップ（別売）を取付け、しっかりねじ込んでから使用してください。

●掲載商品については、最寄りの営業拠点までお問い合わせください。

営業拠点はこちら
弊社Webサイト

素敵な創造～人へ・未来へ
株式会社 日邦バルブ
NIPPO VALVE
本社・松本工場　〒399-8750 松本市笹賀3046
北海道工場　〒059-1362 苫小牧市柏原6-120
ISO 9001・14001 認証取得
東京、設備、関東、神奈川、札幌、仙台、松本、北関東、名古屋、大阪、広島、福岡
https://www.nippov.co.jp/

このカタログに記載した内容は予告なく変更することがあります。また、呼び寸法・呼び径と実寸法とは同一ではありません。

2410.800K